

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 開胸術後疼痛症候群に対する治療方針の後ろ向き調査
	●研究の対象 2022年8月～2024年7月に当院で開胸術後疼痛症候群に対するペインクリニック治療を受けられた方 200名
	●研究の目的 開胸術後疼痛症候群は胸部手術の創部に沿って痛みが出現する疾患です。 軽症を含めると術後の発症率は50%程度と報告されており、術後早期のペインクリニック治療によって疼痛の慢性化を防げると考えられています。現在、神経ブロックや、キセノンレーザー照射などの理学療法、薬物療法が行われていますが、これら治療方法の違いが疼痛コントロールに与える影響は明らかではありません。 開胸術後疼痛症候群の定説な治療法を探るため、過去に当院で行われた治療方法と得られた疼痛軽減効果について調査を行います。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2025年2月末日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。	
《利用し、又は	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>提供する試料・情報の項目 ≫</p>	<p>情報：受けた手術の方法、手術時間、術後鎮痛薬の使用量、開胸術後疼痛症候群に対する治療法、開胸術後疼痛症候群に対する処方薬、治療期間など</p>
<p>≪利用する者の範囲≫</p>	<p>●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 麻酔科蘇生科 責任者：大嶋進史</p>
<p>≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)≫</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。</p>
<p>≪資料の入手または閲覧≫</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>≪情報の開示≫</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 麻酔科蘇生科 担当者： 大嶋進史 TEL： E-mail： 07485997@hama-med.ac.jp
----------	---